

2025年 3月 28日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

杉田クリッピングデバイスを用いて治療された頭蓋内動脈瘤の市販後レジストリ研究  
(観察研究)

### 2. 研究責任者

海南病院脳神経外科 和田 健太郎

### 3. 研究の概要

杉田クリップは、脳血管に発生した脳動脈瘤のクリッピングまたは脳血管のクリッピングによる血流遮断に使用するデバイスであります。現在320種類が市販されており、脳血管の形状、太さ、脳動脈瘤治療の戦略に合わせて、種類を選択することができます。

脳動脈瘤クリッピング術のスタンダードなデバイスとして使用されており、有効性および安全性に関する良い評価が得られております。

杉田クリップを用いて治療を行った患者の経過や、有害事象および不具合を調査する臨床研究はわずかであり、本研究では、杉田クリップを使用して脳動脈瘤クリッピング術を実施したあなたの治療経過を脳動脈瘤の完全閉塞率で評価して有害事象、不具合事象の評価を行います。

### 4. 研究方法

#### ① 対象となる患者さん

杉田クリップにて脳動脈瘤のクリッピング術を施行した患者さん

#### ②使用する試料等

杉田クリップを使用して脳動脈瘤クリッピング術を実施した患者の経過を、脳動脈瘤の完全閉塞率で評価するとともに、研究対象者に発現した有害事象、不具合事象の評価および **modified Rankin Scale; mRS** 評価について調査を行う。

### 5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術

雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 脳神経外科 和田健太郎

電話：0567-65-2511（代表）